

社会科学

(政治)

我が国の公職の選挙制度に関する記述として妥当なもののみを挙げているのはどれか。

A：選挙区間の議員定数と有権者数の比率の不均衡は「一票の格差」の問題として指摘されているがこれまで最高裁判所が定数配分を違憲とする判断を行ったことはない。

B：参議院議員の任期は6年で3年ごとに議員の半数が改選されている。また選挙は非拘束名簿式による比例代表選挙と都道府県単位の選挙区選挙により行われている。

C：衆議院議員の選挙では一つの選挙区から3～5名を選出するいわゆる中選挙区制がとられているが死票が少ない一方小党分立となり政治が不安定になるおそれがあると指摘されている。

D：選挙運動の責任者が買収などの悪質な選挙違反を行い有罪が確定した場合は当選人自身はその選挙違反に関与していない場合でも当選が無効となる。

1. A、B

2. A、C

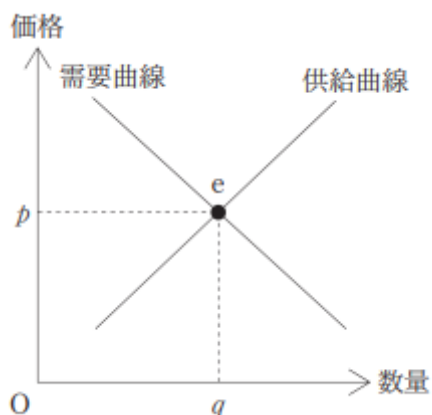
3. B、C

4. B、D

5. C、D

(経済)

図は完全競争市場における牛肉の需要と供給の関係を表したものである。この図に関して一般的にいえることとして最も妥当なのはどれか。ただし当初の牛肉の需給は  $e$  点で均衡しているものとする。



- 1.牛肉の需要が増えると需要曲線は左に移動し牛肉の価格は  $p$  から低下する。
- 2.国民の所得が増加すると需要曲線は右に移動し牛肉の価格は  $p$  から上昇する。
- 3.牛肉供給の生産性が高まると牛肉の価格は  $p$  から上昇する。
- 4.牛肉の価格が  $p$  から低下すると供給曲線は左に移動し牛肉の需要量は減少する。
- 5.豚・鶏・魚など他の肉類の価格が低下すると牛肉の価格は  $p$  から上昇する。

(社会)

20 世紀の社会の特質に関する記述として最も妥当なのはどれか。

- 1.新聞やテレビなどのマス・メディアの発達によってさまざまな情報が同時に提供されるようになりこれにより知性あふれる人々が理性的に行動する「大衆社会」となったといわれている。
- 2.アメリカの社会学者リースマンは地域社会の習慣やしきたりに従って生活する「他人指向型」の人間が減り自らの価値観にもとづいて主体的に行動する「内部指向型」の人間が多くなったと指摘した。
- 3.我が国では第二次世界大戦後の高度経済成長期にホワイトカラーと呼ばれる上流階級に属する層が縮小し中流階級意識をもつ人々が大半を占めるようになった。
- 4.普通選挙の普及によって大衆の考えを政治に反映させるしくみが発展したことから労働運動や住民運動などの社会運動のもつ意義が薄れてきたといわれている。
- 5.行政機構や企業などの組織が巨大となりドイツの社会学者マックス=ウェーバーが「官僚制」と呼んだ合理的な管理・運営のしくみがみられるようになった。

人文科学

(日本史)

次のA～Dは鎌倉仏教の開祖の主張に関する記述であるが人名の組合せとして最も妥当なのはどれか。

A：末法の時代には阿弥陀仏の力にすがらねばならないひたすら阿弥陀仏を信じた「南無阿弥陀仏」と唱えるだけで皆救われ極楽浄土に往生できるとした。

B：自分がどんなに努力しても自力では救われないと自覚し他力をたのむ凡夫(悪人)にこそ阿弥陀仏は慈悲をそそぎ浄土へ往生させるとした。

C：人は本来悟りの力を備えているが悟りは修行しなければあられもない修行の核心はひたすら坐禅(只管打坐)につとめることであるとした。

D：『法華経』こそがブツダの真の教えでありそれへの帰依をあらわす「南無妙法蓮華経」を唱えることで必ず仏になれるまた社会の不安や天災などが生じるのは人々が邪教にまどわされているためであるとした。

	A	B	C	D
1.親鸞	親鸞	法然	日蓮	道元
2.親鸞	日蓮	日蓮	法然	道元
3.道元	道元	親鸞	日蓮	法然
4.道元	道元	法然	親鸞	日蓮
5.法然	法然	親鸞	道元	日蓮

(世界史)

古代の中国に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1.前11世紀長江中流域におこった周は殷を倒して強力な中央集権国家をつくりあげた。周は初めて「皇帝」という称号を用い法治主義を徹底させた。

2.前8世紀各地の諸侯が勢力を競い合う春秋・戦国時代に入った。この時代には諸子百家と呼ばれる思想家があらわれ儒家の孔子は「仁」による社会秩序の回復を説いた。

3.前3世紀秦は富国強兵により国力を強め中国を統一した。秦は王の一族や有力な臣下を世襲の諸侯とし土地と農民の支配をまかせる封建制をおこなった。

4.前3世紀秦が滅んだ後劉邦(高祖)は楚の項羽を破り北京を都として漢(前漢)をひらいた。高祖は華北と江南を結ぶ大運河を建設し南北の統一をすすめた。

5.1世紀王は前漢を倒して清を建国したが光武帝は漢(後漢)を再興し長安を都とした。後漢は政治の混乱と農民の反乱によって衰え国土は北魏(北朝)と宋(南朝)に分裂した。

(地理)

次のA、B、Cは世界の島国に関する記述であるが国名の組合せとして最も妥当なのはどれか。

A：アングロサクソン系を中心とする白人が人口の約70%を先住民のマオリが約15%を占める。世界屈指の先進農業国で輸出の大半は食肉、酪農品、羊毛を主体とする農業産品である。

B：国民の80%以上はイスラーム教を信仰している。石油、天然ガス、すずなどの地下資源が豊富なほか農業では米作が盛んである。

C：民族構成はスペイン系白人ムラート(黒人と白人の混血)黒人などからなる。観光と砂糖産業が経済の中心であり、おもな輸出品は砂糖、たばこ、ニッケル鉱である。

A	B	C
1.ニュージーランド	インドネシア	キューバ
2.ニュージーランド	フィリピン	スリランカ
3.ニュージーランド	フィリピン	キューバ
4.アイルランド	インドネシア	キューバ
5.アイルランド	フィリピン	スリランカ

自然科学

(数学)

$x^2-(m-3)x+m=0$  が重解をもつとき定数  $m$  の値は次のうちではどれか。

1. 6
2. 8
3. 9
4. 10
5. 12

(物理)

物体の運動やエネルギーに関する記述として最も妥当なのはどれか。

- 1 物体に生じる加速度が物体に働く力に比例し、物体の質量に反比例することを慣性の法則といい、この法則に従う物体は等加速度直線運動をする。
- 2 斜方投射された物体の運動を水平方向と鉛直方向に分解すると、水平方向には等速直線運動をし、鉛直方向には鉛直投げ上げと同様の運動をしていることが分かる。
- 3 粗い水平面上に静止した物体が動き出すのを妨げるように働く摩擦力を動摩擦力といい、この摩擦力の大きさは接触面の面積に比例する。
- 4 滑らかな斜面や動滑車などの道具を使えば重い物体でも小さな力で動かすことができ、仕事の総量が小さくなるが、これを仕事の原理という。
- 5 物体の運動エネルギーと位置エネルギーの大きさは等しく、その和である力学的エネルギーは、等速直線運動においては一定に保たれるが、放物運動においては増加する。

(化学)

炎色反応における元素の種類と炎の色の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

- 1 ナトリウム —— 黄色
- 2 リチウム —— 青緑色
- 3 バリウム —— 赤色
- 4 カルシウム —— 黄緑色
- 5 カリウム —— 青色

## (生物)

生態系に関する記述として最も妥当なのはどれか。

- 1 生態系を構成する生物は、生産者と分解者に大別される。生産者には、光合成を行う植物や、有機物を無機物に変える菌類・細菌類が該当し、分解者には、生産者を食べる動物が該当する。
- 2 有機水銀など特定の物質が、生物体内に外部の環境よりも高い濃度で蓄積する現象を生物濃縮といい、これは食物連鎖の低次の生物に起こりやすく、ハマグリにはカモメより高濃度に蓄積される。
- 3 植生とそこに生息する全ての生物の集まりをバイオーム（生物群系）といい、我が国の代表的なバイオームとして、硬葉樹林、雨緑樹林、ステップが挙げられる。
- 4 火山噴火などで新しくできた裸地から始まる遷移の極相林は、マツなどの陽樹林になることが多く、森林の伐採跡地から始まる遷移の極相林は、コナラなどの陰樹林になることが多い。
- 5 湖沼などから出発する遷移を湿性遷移という。新しくできた湖沼は、土砂などが堆積し次第に水深が浅くなって湿原に移行し、やがて湿原は乾燥化して草原に移行する。

## (地学)

火山活動に関する記述として最も妥当なのはどれか。

- 1 マグマは、周囲の岩石より密度が小さいため、浮力により地下深部から上昇する。周囲の岩石と密度が同じになる深さに達すると上昇をやめ、マグマだまりを形成する。
- 2 高温で二酸化ケイ素 ( $\text{SiO}_2$ ) の量が多い玄武岩質溶岩は粘性が大きく、流れにくい。また、揮発成分が抜けやすいので、穏やかな噴火となり、溶岩ドームが形成されやすい。
- 3 高温の火山ガスと火山砕屑物がゆっくりと山を流れ下る火砕流は、粘性の小さいマグマで起こりやすい。また、火山ガスは主に二酸化硫黄から成るが、二酸化炭素を含むこともある。
- 4 中央海嶺や弧状列島のようなプレートの境界部には、噴火する火山が広く分布しているが、これらはホットスポットと呼ばれる。ホットスポットは、プレートの動きに連動して移動する。
- 5 マグマが地下深くでゆっくり冷えて固まった岩石を火山岩といい、急速に冷えてできた岩石を火成岩という。急速に冷えると、大きく粗粒で粒径のそろった斑晶ができる。